

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



極東開発のグループ構成

極東開発工業株式会社

特装車事業

85.7%

- **製造・販売・サービス**
(グループ会社) 国内2社
海外4社: 中国、インドネシア、インド
- **サービス・中古車販売**
(グループ会社) 国内3社
- **調達**
(グループ会社) 海外1社: 中国

環境事業

8.2%

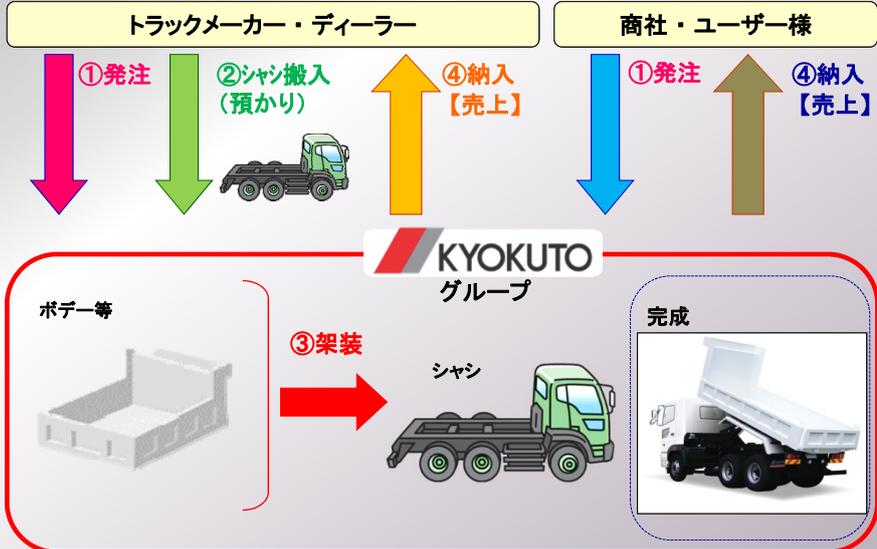
- **リサイクル施設の建設**
- **運転受託・メンテナンス**
(グループ会社) 国内4社

不動産賃貸等事業

6.1%

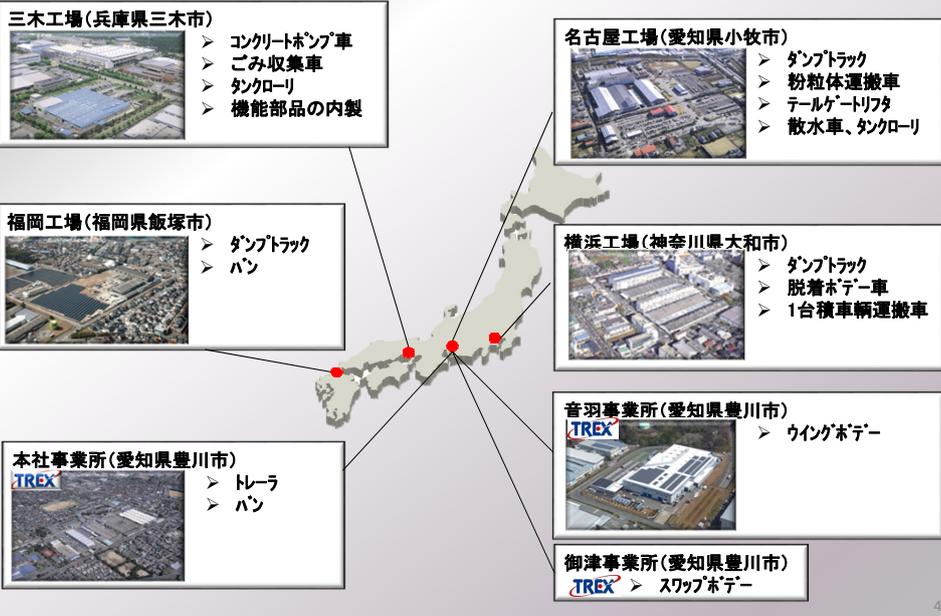
- **立体駐車装置、コインパーキング**
(グループ会社) 国内3社

特装車事業



コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

国内生産体制



三木工場(兵庫県三木市)

- コンクリートポンプ車
- ごみ収集車
- タンクローリ
- 機能部品の内製

名古屋工場(愛知県小牧市)

- ダンプトラック
- 粉粒体運搬車
- テールゲートリフト
- 散水車、タンクローリ

福岡工場(福岡県飯塚市)

- ダンプトラック
- パン

横浜工場(神奈川県大和市)

- ダンプトラック
- 脱着ボデー車
- 1台積車輛運搬車

本社事業所(愛知県豊川市)

TREX

- トレーラ
- パン

音羽事業所(愛知県豊川市)

TREX

- ウイングボデー

御津事業所(愛知県豊川市)

TREX

- スワップボデー

グループ主力製品



赤字:シェア1位製品
 青字:シェア2位製品
 (2021年6月末現在)



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフト



ダンプトラック



脱着トレーカー



ごみ収集車



ウイングトレーカー

海外生産体制



インド工場 (グループ化: 2020年9月)



- > ダンプトラック
- > トレーラ
- > タンクローリ



昆山工場 (操業開始: 2005年4月)

极东开发(昆山)机械有限公司



- > ミキサトラック

インドネシア工場 (操業開始: 2014年2月)

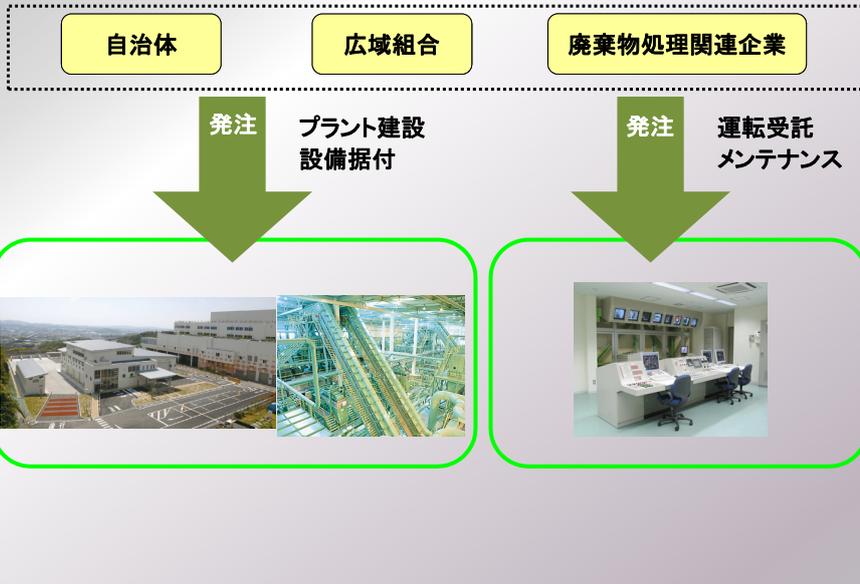
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA



- > ダンプトラック
- > ミキサトラック
- > テールゲートリフト

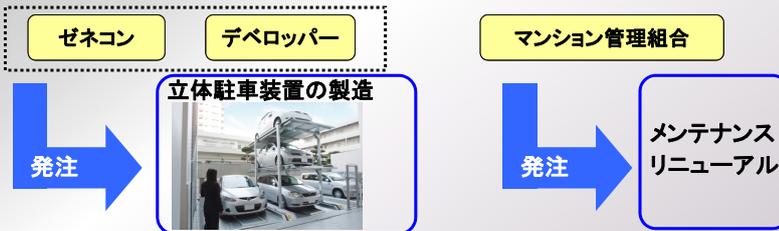


環境事業

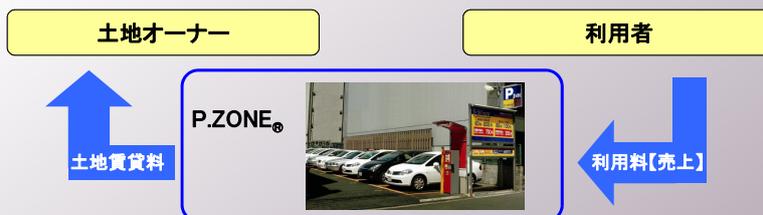


不動産賃貸等事業

【立体駐車装置】



【時間貸駐車場】



新型コロナウイルス 感染症の影響について

【当社グループの方針】

お客様、地域の皆様、グループ従業員の安全を最優先としながら
事業活動の継続に努める。

【事業の状況】

1. 特装車事業

- ① 感染対策を実施しながら生産活動を継続
- ② 商談の遅延が見られたものの、全体としては堅調に推移
- ③ ITを活用したテレワークなどによる受注の確保

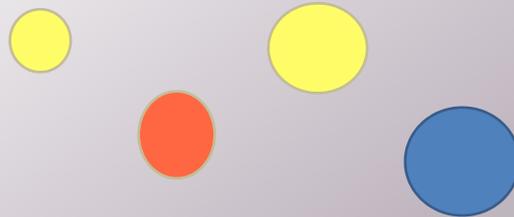
2. 環境事業

- ① プラント建設では対策を行いながら新規物件の受注活動と
建設工事を進めた
- ② メンテナンス・運転受託等のストックビジネスは好調

3. 不動産賃貸等事業

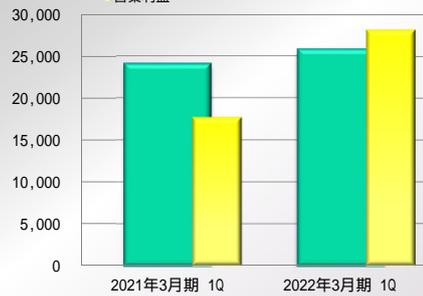
- ① コインパーキングは、各事業地において稼働率が低下する状況が
続いたが、トータルコストの削減を行い利益の確保に努めた

2022年3月期 第1四半期 連結決算実績



2022年3月期第1四半期 連結決算

売上高(百万円)
営業利益



営業利益(百万円)

売上高(前期比)

◆ 特装車事業	+1,450百万円	+7.0%
◆ 環境事業	+237百万円	+12.5%
◆ 不動産賃貸等事業	+79百万円	+5.3%

営業利益(前期比)

◆ 特装車事業	+369百万円	+37.1%
◆ 環境事業	△14百万円	△6.3%
◆ 不動産賃貸等事業	+111百万円	+93.0%

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	前年比	
売上高	24,104	25,860	+1,756	+7.3%
営業利益	1,065	1,889	+823	+58.5%
経常利益	1,032	1,817	+784	+76.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,276	1,185	△90	△7.1%

2022年3月期第1四半期 連結貸借対照表



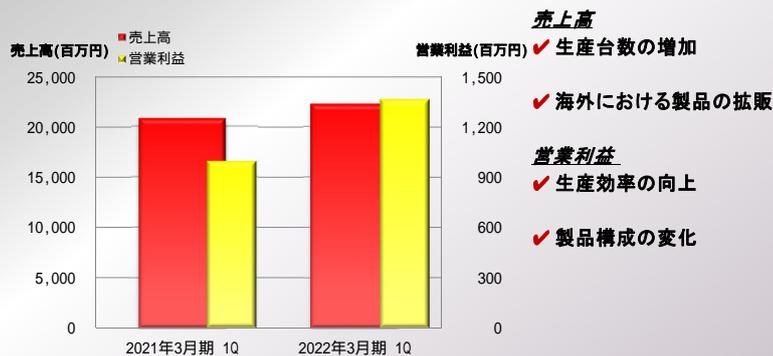
- ✓ 資産合計は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少、投資有価証券の時価の下落等により**減少**
- ✓ 負債合計は、未払法人税等の減少、長期預り保証金の減少等により**減少**
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により**増加**
- ✓ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により**増加**

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 1Q実績	増減
流動資産	84,323	81,370	-2,953
固定資産	58,417	57,953	-463
資産合計	142,740	139,323	-3,417
流動負債	36,742	33,398	-3,343
固定負債	5,411	5,288	-123
負債合計	42,153	38,686	-3,466
株主資本	95,468	95,734	266
その他の包括利益累計額	4,814	4,589	-225
純資産合計	100,587	100,637	50
負債純資産合計	142,740	139,323	-3,417
自己資本率	70.3%	72.0%	

13

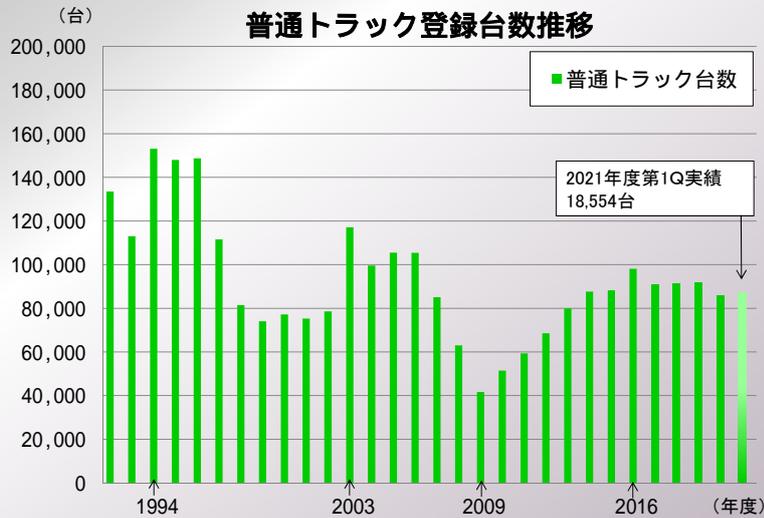
2022年3月期第1四半期 特装車事業



	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	前期比	
売上高	20,838	22,289	+1,450	+7.0%
営業利益	995	1,365	+369	+37.1%

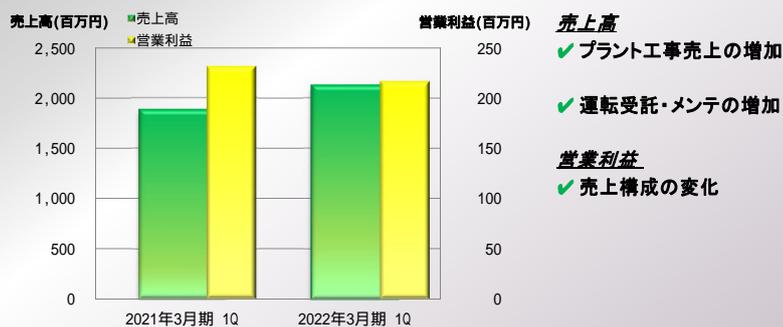
14

2022年3月期第1四半期 特装車事業(市場環境)



15

2022年3月期第1四半期 環境事業



	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	前期比	
売上高	1,895	2,132	+237	+12.5%
営業利益	232	217	△14	△6.3%

16

2022年3月期第1四半期 不動産賃貸等事業

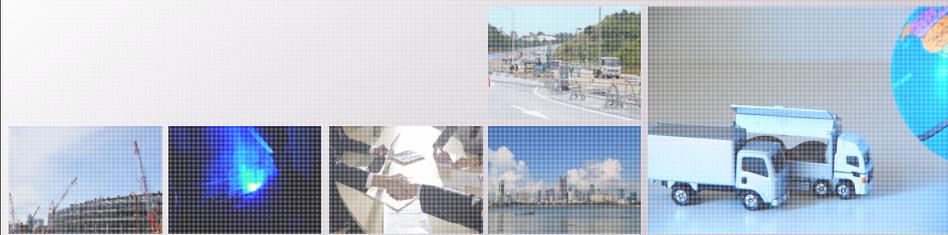


	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	前期比	
			増減	増減率
売上高	1,496	1,576	+79	+5.3%
営業利益	119	231	+111	+93.0%

17



今後の取り組み



生産性の向上と利益体質の強化 ～設備投資効果の最大化



直近年度までに実施した設備投資の運用と新たな設備投資により
売上の拡大・生産性向上を図る

三木工場

自動溶接ロボット運用

ごみ収集車生産ライン整備



ごみ収集車ボデー用
自動溶接ロボット

横浜工場

中小型ダンプ生産ライン更新

大型ダンプ自動化ライン検討

福岡工場

大型ダンプ生産体制整備

軽ダンプ自動化ライン設置

名古屋工場

新パワーゲートセンター運用

成形設備の拡充



新パワーゲート
センター



PANECTライン
(発泡設備)

日本トレクス



PANECT®ライン運用

トレーラ生産体制整備

部品塗装ライン更新

将来の収益源の創出 ～海外事業の収益基盤確立



海外経済の先行きが不透明さを増す中、収益基盤確立に向けてリソースを投入
日本・中国を含めてグループで連携したクロスボーダーな事業展開を推進

【昆山工場】

- ミキサー マザー工場
- 日本向け部品拡大

极东开发(昆山)机械有限公司



【国内工場】

- 輸出量産ダンプの受注拡大
- ユニット販売の促進
- 販売店増設(アジア・中近東)
- 新規海外専用機種の開発



【インド工場】



- 2020年9月のフループ化により、優れた生産拠点と顧客の確保
- 事業基盤を強化し、事業の拡大
- ダンプOEM生産量を向上 (VOLVO向け拡大、他メーカーへ展開)
- コストバランスの適正化

昆山工場

上海

インド工場

インドネシア工場

【上海】極東特装車貿易

- 日本向け新規製品の開拓と原価低減

【インドネシア工場】

- ダンプ・ミキサーの安定受注確保
- サービス体制の確立



将来の収益源の創出 ～新分野の事業確立

グループの強みを活かせる既存事業周辺・応用領域にターゲットを絞り、事業成長に注力
成長を加速させるため、M&A・提携も積極検討



配当政策

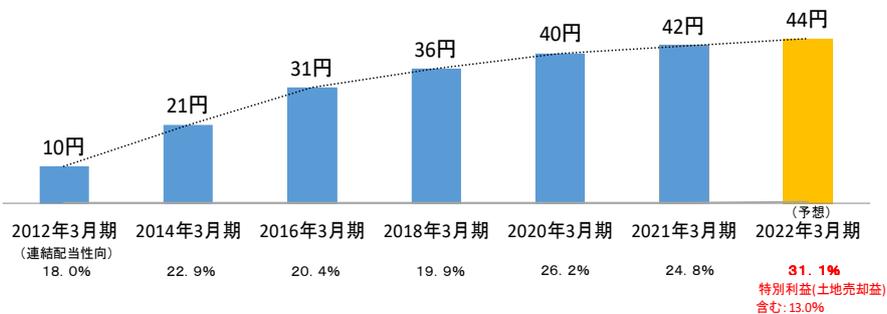
配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

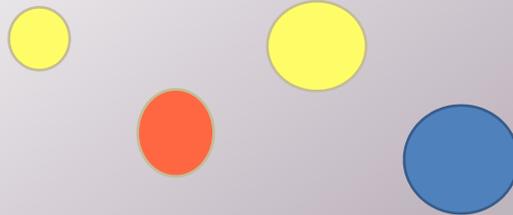
2022年3月期配当予想については、年間44円を予定しております。

株主還元
安定的・継続的な配当を重視
配当性向 30%前後目安

一株あたり年間配当額の推移



TOPICS



TOPICS① 新型7トン脱着ポデー車 「ハイパースイング・フックロール®」を発売

【特長】

5月20日より発売

- ・強靭さをイメージする「ハイパースイング」独自のアーム部赤色塗装の実施、吊上げ能力を従来機比で9%アップ、アイドルアップの自動化により作業スピードを最適化し、アクセル操作を行うことなく素早く安全な作業を可能とするなど、基本性能を大幅に向上
- ・作業全長の短縮化を図り、様々な現場に対応できるようになったほか、車体の最適設計により、負荷のかかるアーム部の強度を向上しつつ軽量化も実現し、従来機に比較してより多くの積載量を確保することが可能。

➡ より力強くスムーズな作業を実現する、機動力と使いやすさを極めた脱着ポデー車の投入により製品ラインナップを拡充し、特装車事業の強化を図る。



新型7トン「ハイパースイング・フックロール」



フックアーム

TOPICS② 新型「テレスコ式土砂ダンプトレーラ (GVW36t)」を発売



【特長】

5月31日より発売

- ・ダンプ機構にテレスコ式シリンダを採用し重量バランスを最適化させたほか、耐摩耗鋼板 (HARDOX) を使用した曲げ構造のボデー形状による大幅な軽量化と、強度を保ちながらもステップナ (補強柱) レスとするなど、美観に溶け込むすっきりかつシンプルなデザイン
- ・足回りにはエアサスペンションとリフトアクスルを採用し、ランニングコストの低減を図ることが可能

土砂の大量輸送と、輸送経済性の確保という近年高まっているそれぞれのニーズを両立させた、新しいダンプトレーラにより製品ラインナップを拡充し、特装車事業の強化を図る。



テレスコ式シリンダ



曲げ構造ボデー



新型「テレスコ式土砂ダンプトレーラ (GVW36t)」

TOPICS③ バイオガスプラント及び使用済み紙おむつ燃料化施設
竣工のお知らせ(1)



バイオガスプラント(食品リサイクル工場)

2021年1月竣工

- ・DOWAグループのバイオディーゼル岡山株式会社様の 発注により、2019年9月に起工、2021年1月に竣工
- ・食品廃棄物のメタン発酵処理を行うバイオガスプラントで、包装容器等を取り除く前処理設備を設け、飼料や肥料へのリサイクルが難しい食品廃棄物を有効利用
- ・食品廃棄物の受入計画量は年間16,000tで、メタン発酵を用いたバイオガス発電により、約1,600世帯の年間電力使用量に相当する発電と売電を行う計画

【概要】

1. 施設名	食品リサイクル工場
2. 設置場所	岡山県岡山市南区築港栄町7番49
3. 敷地面積	8,900㎡
4. 処理能力	45t/日
5. 発電容量	910 kW



TOPICS③ バイオガスプラント及び使用済み紙おむつ燃料化施設
竣工のお知らせ(2)



使用済み紙おむつ燃料化施設(西天北サーマルリサイクルファクトリー)

2021年3月竣工

- ・西天北五町衛生施設組合様の発注により、
2019年6月に起工、2021年3月に竣工
- ・これまで地域で廃棄、埋め立て処分されていた使用済み紙おむつと剪定枝等の木質バイオマスをエネルギー利用するための混合燃料製造施設
- ・使用済み紙おむつに木質バイオマスを混合することで、燃料の安定燃焼を実現
- ・製造された混合燃料は、地域の老人ホームの専用ボイラーで燃焼し、給湯熱源に利用されることで、エネルギーの地産地消に貢献



【概要】

1. 施設名	西天北サーマルリサイクルファクトリー														
2. 設置場所	北海道天塩郡幌延町字幌延883番地														
3. 敷地面積	約8,000㎡														
4. 処理能力	<table border="0"> <tr> <td>①紙おむつ原料化設備</td> <td>170t/年 (0.6t/日)</td> </tr> <tr> <td>②木質バイオマス保管ヤード</td> <td>58t/年</td> </tr> <tr> <td>③木質チップ化設備 破碎設備</td> <td>58t/年(0.23t/日)</td> </tr> <tr> <td>乾燥設備</td> <td>58t/年</td> </tr> <tr> <td>④混合燃料化設備 紙おむつ原料</td> <td>54t/年(0.21t/日)</td> </tr> <tr> <td>木質チップ</td> <td>36t/年(0.15t/日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(計0.36t/日)</td> </tr> </table>	①紙おむつ原料化設備	170t/年 (0.6t/日)	②木質バイオマス保管ヤード	58t/年	③木質チップ化設備 破碎設備	58t/年(0.23t/日)	乾燥設備	58t/年	④混合燃料化設備 紙おむつ原料	54t/年(0.21t/日)	木質チップ	36t/年(0.15t/日)		(計0.36t/日)
①紙おむつ原料化設備	170t/年 (0.6t/日)														
②木質バイオマス保管ヤード	58t/年														
③木質チップ化設備 破碎設備	58t/年(0.23t/日)														
乾燥設備	58t/年														
④混合燃料化設備 紙おむつ原料	54t/年(0.21t/日)														
木質チップ	36t/年(0.15t/日)														
	(計0.36t/日)														

➡ 今後も環境事業を通じて、環境負荷の低減およびSDGsの達成に貢献



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く本資料を複製・配布することを禁止します。